

国語科 内容系統配列一覧表

期	I 期		II 期		III 期							
目標	区分目標 ①日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉のよさを認識し、言語感覚を養い、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①日常・社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常・社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。							
学年	第1・2学年		第3・4学年		第5・6学年		第7学年		第8学年		第9学年	
（思考力・判断力・表現力等）	☆話したり聞いたたりする活動	ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 イ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ウ 伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫すること。 エ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさずに集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。	ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。 エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。	ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えること。お互いの立場や意図を明確にしなが 計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。 ウ 資料などを活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	ウ 相手の反応を踏まえないが、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。 エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。	ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。	ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。					
		・経験を報告したり、それを聞いたりする。 ・経験したことを報告したり、それらを見て感想を述べたりする。 ・場面に合わせてやりとりをする。 ・尋ねてわかったことを紹介する。 ・説明をしたり、説明を聞いて感想を述べたりする。 ・大事なことを落とさずに話す。 ・集中して話を聞く。 ・大事なことを落とさずに聞く。	・図表に基づいて話したり聞いたりする。 ・友達の自己紹介をよく聞く。 ・報告をしたり、それを聞いて感想を述べたり質問をしたりする。 ・興味のあることを調べて発表する。 ・話し方に注意して話す。 ・大事なことを落とさずにメモをする。	・インタビューしたことを発表する。 ・話の構成を考えてスピーチをする。 ・意図を明確にしながインタビューする。 ・集めた情報を整理し、互いの意見を聞き合う。 ・効果的な資料を提示してスピーチをする。 ・友達の話聞いてつなげる。	・人物や大切なものを紹介する。 ・相手の反応を見ながら自分の考えを伝える。 ・質問したり意見を述べたりする。	・調べて分かったことをまとめ、発表する。 ・資料や機器を用いて提案する。	・本の魅力を紹介し合う。 ・俳句について自分の考えを話したり、評価を述べたりする。 ・中学校生活を振り返り、考えたことを伝え合う。					
話し合う活動	オ 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。	オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。	オ 互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。	ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見の関係などに注意して、話の構成を考えること。 ウ 少人数で話し合う。 エ 少人数で討論する。	オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。 ウ 対話劇やその振り返りの話し合いを行う。 エ それぞれの立場から考えを伝え、討論する。	オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。 ウ 合意形成のための会議を行う。 エ 互いの考えを生かして話し合う。						
	・事物の説明をする。尋ねたり、二人で話し合って考えを一つにまとめたりする。 ・グループで話し合って考えをまとめる。	・グループで話し合って考えをまとめ、学校行事を紹介する。 ・計画的な話し合い方について考える。	・それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。 ・それぞれの立場から考えを伝え、討論会をする。									

（発達段階に応じて）伝える内容を検討し適切に話したり、大事なことを落とさずに聞いたりし、伝え合う能力を身につけさせる。

目標		区分目標 ①日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉のよさを認識し、言語感覚を養い、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①日常・社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常・社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。							
学年		第1・2学年		第3・4学年		第5・6学年		第7学年		第8学年		第9学年	
〔思考力・判断力・表現力等〕書くこと	説明的な文章を書く活動	<p>ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。</p> <p>ウ 語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。</p>	<p>ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係を注意したりして、文章の構成を考えること。</p> <p>ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。</p>	<p>ア 目的や意図に応じて感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>エ 引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p>	<p>イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。</p> <p>ウ 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</p>	<p>ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。</p>	<p>イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察カードを書く。</li> <li>(観察したことを)記録する文章を書く。</li> <li>(ニュースを)報告する文章を書く。</li> <li>紹介する文章を書く。</li> <li>(観察したことを)記録する文章を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(横書きの)報告文を書く。</li> <li>(事例を挙げる)説明文を書く。</li> <li>報告書を書く。</li> <li>(引用する)報告書を書く。</li> <li>新聞を作る。</li> <li>(理由を挙げて)自分の考えを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案書を書く。</li> <li>活動報告書を書く。</li> <li>図表を用いた説明文を書く。</li> <li>意見文を書く。</li> <li>解説文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表を用いた説明文を書く。</li> <li>事実や体験から意見文を書く。</li> </ul>	<p>・自分の意見を書く。</p>	<p>・自分の考えを書く。</p>
	☆実用的な文章を書く活動	<p>ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。</p> <p>エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすること。</p>	<p>ア 相手や目的を意識して経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつつたり、段落相互の関係を注意したりして、文章の構成を考えること。</p> <p>エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えること。</p>	<p>ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p>	<p>ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。工読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。</p>	<p>イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。</p> <p>エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。</p>	<p>エ 目的や意図に応じた表現になっているかを確かめて、文章全体を整えること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(いいことを)報告する文章を書く。</li> <li>絵日記を書く。</li> <li>手紙を書く。</li> <li>(思い出を)報告する文章を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを書く。</li> <li>(お礼の)手紙を書く。</li> <li>リーフレットを作る。</li> <li>手紙を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを書く。</li> <li>推薦文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の案内文を書く。</li> <li>伝えるべきことを整理して書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙を書く。</li> <li>伝えたいことを媒体を考慮して書く。</li> </ul>	<p>・伝えたいことを整理して書く。</p>
	文学的な文章を書く活動	<p>ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。</p> <p>オ 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。</p>	<p>オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。</p>	<p>イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。</p> <p>ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(カ)</p> <p>オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。</p>	<p>ウ 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p>	<p>ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p>	<p>ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文意になるように工夫すること。</p> <p>オ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵から文を書く。</li> <li>簡単な物語をつくる。</li> <li>詩をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語文を創作する(絵地図)</li> <li>(なりきって)詩を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語文を創作する(写真)</li> <li>俳句をつくる</li> <li>短歌をつくる</li> <li>随筆を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を基に感じたことを書く。</li> <li>俳句をつくる。</li> <li>物語を創作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語を創作する。</li> <li>古典を現代版に創作する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字について文章にまとめる。</li> <li>批評文を書く。</li> </ul>

(発達段階に応じて) 語彙を増やし、目的や意図に応じて自分の考えを表現する能力を身につけさせる。

期	I 期		II 期		III 期							
目標	区分目標 ①日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉のよさを認識し、言語感覚を養い、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①日常・社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常・社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。							
学年	第1・2学年		第3・4学年		第5・6学年		第7学年		第8学年		第9学年	
〔思考力・判断力・表現力等〕読むこと（説明的文章）	☆構造と内容の把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。  ・語と語の関係を読む。 ・事物の仕組みを読み取る。 ・問いと答えの関係を読む。 ・主語と述語の関係を読む。 ・せつめいのしかたを知る。	ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。  ・始め・中・終わりに分ける。 ・段落相互の関係を読み取る。	ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉え要旨を把握すること。  ・意見文を書く。 ・要旨をとらえる。	ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。  ・要旨を捉える。	ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。  ・筆者の主張を読み取る。	ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。  ・情報を比較する。					
	精査・解釈	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。  ・問いと事例に関係を読む。 ・自分の思いや考えをもつ。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。  ・科学読み物の考えの進め方をとらえる。 ・説明のしかたの工夫を見つける。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。  ・説明のしかたの工夫を見つける。 ・自分の考えをまとめる。	ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。  ・多様な情報を得て、考えたことを報告する。 ・語句の意味を的確に捉える。	ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。  ・多様な方法で情報を選び考えをまとめる。 ・概念、心情を表す語句を捉える。	イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。  ・報道の情報を比較する。 ・実生活に生かす。					
	考えの形成（共有）	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。  ・自分の経験と結び付けて読む。	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。  ・段落の内容を読み取る。 ・興味をもったところを要約する。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。  ・文章を批判的に読み、自分の思いをもつ。 ・自分の考えと比べて読む。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。  ・考えたことを伝え合う。	オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。  ・生き方について考えを伝える。	エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。  ・これからの社会を考える。					

期	Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期							
目標	区分目標 ①日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉のよさを認識し、言語感覚を養い、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①日常・社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②日常・社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。		区分目標 ①社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使う。②社会生活での伝え合う力や思考力・想像力を高める。③言葉の価値を認識し、言語感覚を豊かにし、国語を尊重しその能力向上を図ろうとする。							
学年	第1・2学年		第3・4学年		第5・6学年		第7学年		第8学年		第9学年	
(思考力・判断力・表現力等) 読むこと(文学的文章)	☆ 構造と内容の把握	イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ・ 事柄の順序を捉え、登場人物や場面の様子をつかむ。	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。 ・ 場面の移り変わりを基に、登場人物の様子を捉える。 ・ 場面の移り変わりを基に、中心人物の人物を捉える。	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ・ 中心人物の変容を捉え、作品の面白さを考える。	イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 ・ 人物の描写に注意して読む。	ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・ 作品の構成の特徴について考えをまとめる。	ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 ・ 人物の設定を捉える。					
	精査・解釈	エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ・ 登場人物の関係を捉え、場面や人物の様子を想像する。 ・ 場面の移り変わりを捉え、登場人物の様子を想像する。	エ 登場人物の気持ちの変化や性格情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 ・ 場面の移り変わりや中心人物の変容から、作品の構造を捉える。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ・ 中心人物の変容や原因から人物像をつかみ、作品の主題を考える。 ・ 物語の構造を捉え、作品の良さや面白さを考える。 ・ 対比関係を捉え、作品に象徴されたものを読む。	エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。 ・ 正確にわかりやすく音読する。 ・ 表現の特徴について考えをもつ。 ・ 作品の構成の工夫を読み取る。	イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・ 人物の言動の意味を考える。 ・ 作品の特徴を生かして朗読する。 ・ 例示や描写の効果を考える。	イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。 ・ 人物像を的確に捉える。 ・ 表現の工夫を生かして朗読する。 ・ 心情を味わう。					
	考えの形成(共有)	オ 文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ・ お話を読んで、自分と比べて感想をもつ。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 ・ お話を読み、気に入ったところや感じたことをまとめ、紹介する。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ・ 伝記を読み、感じ考えたことをまとめる。 ・ 伝統文化を楽しみ、感じ考えたことをまとめる。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 ・ ものの見方や考え方を広くする。 ・ 主人公の心情の変化を読み取る。	オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・ 引用して解説する。 ・ 登場人物の心情を読み取る。	エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。 ・ 俳句を批評する。 ・ 小説を批評する。					

(発達段階に応じて)登場人物や場面の様子を叙述に即して読み取り、自分の考えを表現する能力を身につけさせる。